

第52回 立野 光梨さん (千葉大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第52回目は、立野 光梨さんにご執筆いただきました。

デザイン心理学

学部で認知心理学を主軸に学んだ後、大学院では融合理工学府 創成工学専攻のデザイン心理学研究室に所属。人間の心理を考慮したデザインを実現することを目的に、心理学的手法によって、今まで数値化することが難しかった人間の感性（見やすさ、使いやすさ、印象など）を定量化する研究を行っていました。具体的には、色彩、フォント、形状、質感などの違いが、印象や嗜好にどのような影響を及ぼすのか、定量的な検証を試みると同時に、研究成果の応用可能性について検討していました。

所属していた研究室は、『デザイン心理学』を標榜する日本で唯一の研究室です。パッケージデザイン、消費者の広告の認知や購買行動など、デザインに関わる諸問題を心理学の視点から研究しています。メンバーには留学生の方も多く、和気あいあいとしています。

立野 光梨 (Hikari TACHINO)

【所属】 千葉大学 (2019年3月修了)

【連絡先】 lightpear.t@gmail.com

【その他】 関心のある研究キーワード：感性工学、視覚的注意、印象評価、消費者行動、パッケージデザイン、ニューロマーケティング、デザイン評価、アイトラッカー、UI/UX デザイン